

2023 年度 学校評価報告書

1. 園の教育目標

キリスト教的人間関係に基づき、乳幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身共に健康で調和の取れた発達を助長する。

2. 2023 年度 重点的に取り組んだ目標・計画

～つながって つくりだす～

- ・ 神様とのつながり
- ・ 人とのつながり
- ・ 友だちとのつながり
- ・ 自分の周りにあるすべてのものとのつながり

このつながりを、さらに膨らませ、絡めあって、自分のちからでできること、友だちと力を合わせてできることを考えて取り組む。

3. 評価目標の達成及び取組状況

評価項目	取り組み・達成状況
教育充実のための 取り組み	・ 子どもたちが、「やりたい」「もっと続けたい」と思える保育・子どもたちが、「やりたい」「もっと続けたい」と思える保育 ・ 足腰を鍛えるため、山登り・お散歩を多く取り入れた。幼児クラスは、学期に1回程度しか実施できなかった。乳児クラスは2週間に1度位の頻度でお散歩に出かけ、その結果、良く歩けるようになり、体力もついたと思われる。 ・ 畑では、じゃがいも、いちご、たまねぎ、夏野菜、さつまいも、いんげん、えんどう豆など様々な作物を育て、観察し、収穫して、クッキングなどを通し食べることにより、食育活動が活発になった。自分で育てたものは、大切に感謝していただく心を持つことができるようになった。 ・ 今年度も、様々な楽器に触れる事ができた。いろんな楽器に触れ、興味を持つことができた。
保育・職員の レベル向上	・ モンテッソーリ教育の実践研修会に多くの職員が参加できたことはよかった。各保育室でのモンテッソーリ教具の使い方の指導ができるようになった。 ・ 今年度は全職員がキャリアアップ研修を受講した。しかし、共有する機会を持つことができなかったのも、保育会議などで共有する機会を持ちたい。 ・ 分掌の担当ごとに、活動内容の深さが違ったので、職員間で協力していけるような環境作りが」必要である。
保育・教育環境の 整備	・ 自由選択活動やマリアンルームでのお仕事を通して、満足感を得ることができ、自主的な活動へとつながりを見せた。 ・ 園外へは、もっと出かけることができるように取り組みたい。 ・ 縦割り活動は、小さいお友達に優しくすることができたり、遊びのルールを教えてもらえたり、楽しく安定して過ごすことができた。 ・ 食育カリキュラムを作成し、給食室と連携を取りながら、食育に取り組むことができた。
社会連携	・ 自由選択活動やマリアンルームでのお仕事を通して、満足感を得ることが

奉仕事業	でき、自主的な活動へとつながりを見せた。縄手中学校から、職業体験に生徒が来て、交流を持つことができた。 ● 商店街のイベントに参加、地域の人たちとの交流を深めることができた。 ● コロナ化で出来なかった交流会が復活し、地域の方との交流も少しずつ深めることができた。 ● 子供の育ちについての共有は、小学校とも連携をとり、ケース会議を開催している。 ● 卒園児の小学校の参観に参加し、卒園児の様子を担当の先生からお聞きすることができた。
------	---

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

約3年間続いたコロナが一旦、落ち着いて、以前に近い行事内容になってきた。子どもたち同士のつながり、保育者同士のつながり、保護者の方とのつながり、地域の方々とのつながり、神様とのつながりを大切に1年間を過ごしました。職員全員が「つながり」を大切に、一人ひとりの子どもたちと丁寧に接することを心掛けました。情報の共有もしっかり行えたと思います。次年度は、危機管理の徹底に力を入れたいと思います。災害が起こった時の訓練を日ごろから行い、備蓄品も増やしたいと思います。子供たちが安全に過ごせる環境を常に保ち、保護者の皆様に安心して預けていただけるよう取り組みます。また、今、問題となっている不適切保育についても教職員同士で、話し合い率直に意見を出し合い、お互いに嫌なことも言い合える又真摯に受け止められるようにする等の確認をしました。

5. 学校評価委員 評価結果

- すべては「つながる」ことの大切さに集約されると感じています。園児と保育者、保育者と保護者の関係、また園児同士、保育者同士の関係、そして保護者感など、園生活（保育活動）の中心である子どもたちを第一に、豊かな関係性を土台にした保育がなされていくことを期待しています。
- 保護者の皆様からの評価通り、子どもたちが強いストレスを感じることなくのびのび通園していることから、職員の皆様の日々の努力から実っているものと思います。地域の皆様も、心やすく適度な関心を畑への声掛けをしてくださることで感じています。コロナ禍が落ち着きましたが、感染症や災害などいつ起こるかわかりません。職員の皆様の仕事の負担が多くならないよう、健康に留意され安全を守ってください。
- アンケートの項目に関して、高評価がほとんどであるが、礼儀や身だしなみなど生活に係ることで低い評価があったので日々の保育の中で習慣づけていけるように関わってもらいたい。アンケートの未提出の方の割合が少し多く感じるので、保護者に対する発信方法を工夫して、関り方を増やして、安心して相談できる環境を作っていってほしいです。今年度は、地域との関りが広がった1年だと思います。子どもたちにもいい影響を与えているのでこのまま継続してください。
- 山登り等、体力づくりを実施できたことは前年度より充実した教育となっている。更に頻度や内容を増やすことでより充実した教育が期待できる。モンテッソーリ教具を使用することにより、保育レベルが向上していると感じた。職員が各種研修を受講後、講師として他の職員へフィードバックすることで、講師側、受講者側の両者にとってスキルアップの機会となり、組織全体の向上に繋がると感じた。小学校入学に向けて、文字や計算等の学習を取り入れることで、将来を見据えた保育が実施できると感じる。アンケート結果を踏まえて、各職員が前向きに真摯に受け止め改善する姿勢が見受けられる。

- ◆ 安全対策や危機管理において不安に思っている方が少しいるとアンケート結果を見て思いましたが、園では門の前のミラーを増設したり、対策をしていると思います。保護者の方にあまり伝わっていないのかと思います。身だしなみのところで、どちらともいえない、あまりそう思わない、との回答が見られましたが園だけではなく家庭での声掛けも重要なかなと思いました。身だしなみの意識があがって友だち同士で直しあいたりするようになればいいかなと思いました。
- ◆ 2023 年度は、食育活動が盛んに行われていてこどもたちにとって、いい経験をさせてもらっているかなと思いました。先生方が度々研修に参加されていることは知っていました。しかし、どのような内容を学ばれているのかはわからず、こども達には伝わっているといいかなと思います。コロナが落ち着いてきて、行事内容も変化してきているのを見ておりますと、夏のお泊り保育も再開するかなと期待していました。今年もなくて残念です。安全対策、危機管理で不安を感じたことはないですが、最近の災害の多さを目の当たりにしますと、訓練や備蓄品を増やすなどの対策を練っていただいてありがたいです。安全にのびのびと幼稚園生活を送ってくれることを願っています。
- ◆ 2023 年度保護者アンケート評価結果は、評価基準に当てはめると「評価 4」というところでしょうか。毎年若干の数値変動はあるにせよ、確実に上昇安定傾向で推移しておりましたが、今年度は「評価 5」から「評価 4」に移行しているように見受けられる。少々残念な結果となっているようです。しかし、アンケートの数値の変動は過去にもいろんな場面で経験しましたが、決して悲観要素ではありません。現に多くの保護者の皆様から心温まる支持、評価を頂けていることが根底にあるのと、何よりも見直す課題が浮き彫りになっているのです。此処は、認定こども園の崇高なカトリック信仰に基づいた教育目標の真摯な実践あるのみで、毎年の重点取り組み計画や教育充実に力を注ぐこと、忠実に『やるべきことをやる』を全員で共有しながら邁進されることを切に願っております。
- ◆ 2023 年度は、“新型コロナ”による各種の制約もなくなり、認定こども園本来の活動が戻ってきた胸の報告がなされていました。身体全体を使い、人間に備った“模倣の本能-学ぶ本能-”を駆使し、いろいろな体験や子ども同士の遊び、ゲーム、会話を介して多くの事を学ぶ子供たちにとっては心身共にこの上もない満足のゆく状況が目の前に広がったのではないかと察せられます。そうした中で 2023 年度をスタートされた認定こども園枚岡カトリック幼稚園も教育充実のための取り組みや、保育・教育職員のレベル向上、園独自の取り組み課題等々、やるべきことをしっかり実践されて参りました。とりわけ、保育・教育環境の整備では、子どもたちが活動し自分なりの楽しさや面白さを体得し、そこから得た満足感を次の自主的な活動に結び付けるという“自発活動の芽生え”を身につけたのは本当に素晴らしいことだと考えます。
- ◆ 2024 年度も幼稚園の活動は更に本来の活気を取り戻し広がりを見せるとありますが、“建学の精神でもあるカトリックの教えに基づいたキリスト教的人間観に沿った幼児・園児教育”に徹して頂き、乳幼児の個性を尊重するとともに、それぞれの個性にあった環境を準備し、心身共に健康で調和のとれた発達を追い求めることに邁進して欲しいと思います。
- ◆ 子供たちへのカトリック的人間観に基づく教育と愛情いっぱいの保育姿勢が結果として保護者の皆様への満足感に繋がります。“教育目標”の実践や課題克服への弛まぬ努力は素晴らしい結果をもたらしてくれると信じ、ますます活発な園運営がなされることに期待しています。今後も、教職員が明確な信仰心に育まれ、子供たちの成長に携われる仕事に誇りを持ち、カトリック的人間観に基づいた教育目標に邁進されることを心より願っています。